

報告事項ソ

鳥取県指定有形民俗文化財「馬場八幡人形芝居道具」調査報告書について

鳥取県指定有形民俗文化財「馬場八幡人形芝居道具」調査報告書について、別紙のとおり報告します。

平成26年4月15日

鳥取県教育委員会教育長 山本仁志

鳥取県指定有形民俗文化財「馬場八幡人形芝居道具」調査報告書について

平成26年4月15日
文化財課

鳥取県指定有形民俗文化財「^{ばばはちまん}馬場八幡人形芝居道具」(昭和34年6月5日指定)は、鳥取市馬場に伝承されていた「馬場八幡永楽座」という人形芝居一座の道具一式で、約30点の人形頭をはじめ、引幕、衣装などの道具一式がほぼ完全に保存されており、江戸時代から昭和初期にかけて多くの人たちに親しまれた、鳥取の人形芝居の文化を理解する上で貴重な資料である。

しかし、一点ごとの記録がなく保存状況が不明瞭であることから、鳥取県教育委員会では、平成22年度から25年度の4年間にわたり、専門家の協力を得て調査及び記録作成を行い、その成果を下記の通り報告書にまとめた。

このたび、地元地区や各市町村、関係各機関に報告書を配布することで、「馬場八幡人形芝居道具」の周知を図り、この文化財の保護と活用について多くの人々に関心をもってもらおう契機とする。

記

1 名称

鳥取県文化財調査報告書第21集
「馬場八幡人形芝居道具」調査報告書

2 刊行日

平成26年3月24日

3 発行部数

500部(うち販売部数50部)

4 価格

1,300円

5 主な配布先

県内市町村教委、図書館、博物館など

6 販売窓口

鳥取県教育委員会事務局文化財課
鳥取県庁県民課

7 内容

「馬場八幡人形芝居道具」全点について、名称・寸法・材質・技法・銘・記号を一覧にした目録を掲載し、中でも重要なものの写真を大図版、以外のものを小図版として全て掲載した。さらに、馬場八幡人形芝居そのものについて、馬場八幡人形芝居道具の頭や胴体・手足について、衣装の技法や素材等について、それぞれ概説した。

これまで不明瞭であった文化財の全貌を明らかにするとともに、地元の人形師の作など鳥取の人形芝居文化を支えた作り手の技術、他地区の人形芝居と比較した衣装の特徴などを示すことができた。



